

子どもが自分で身を守れる防災教育

校長 青木 あゆ子

今週も熱中症への警戒が呼びかけられている中、学校が再開されました。久しぶりの登下校で具合の悪くなるお子さんがいないかと心配しましたが、みんな元気に学習しています。

本校では夏休み前に終えた防災引取訓練ですが、関東周辺の学校では101年前の9月1日に起きた関東大震災から学べるよう、その前後に行うところが多くなっています。1月の能登半島地震、この夏には南海トラフ地震臨時情報も出されるなど、地震への備えは大切です。また台風などによる水害も毎年のように起こっています。先日は川崎市でも【警戒レベル3】高齢者等避難の発出と一時避難場所が開設されました。

以前は、「いかに先生方の指示に従って避難を行えるか」ということが大切にされた防災教育でしたが、近年では「一人でいる時に自分で自分の身を守る防災教育」が主流となってきています。稲田小学校の避難訓練でも、より実際に即した訓練となるよう、再検討を行っているところです。

児童が在校している時に震度6弱以上の地震が起きたと想定すると、児童800名を校庭に避難させて怪我の有無や安否の確認を取ります。その間にも心配になった保護者が大勢、校庭に集まってくるでしょう。急いで引き渡したいところですが、事前に保護者から申し出のあった引き取り人に確実に引き渡すことが大切です。地域で自宅が壊れた方々も大勢学校に向かうかもしれません。学校では、避難訓練の回数が多いですが、登下校中の災害にも注意が必要だと考えます。

学校でも指導していますが、登下校中や放課後の地震も想定し、日頃からご家族でできる準備を整え、いざという時のタイムラインについて話し合っておきましょう。お子さんが一人の時も、自分で自分の身を守れるように育てていきたいと思えます。

【お願いとお知らせ】

①学校評価アンケートについて

ここ数年、同じ質問項目で行ってきた「学校評価アンケート」ですが、かわさきGIGAスクール構想や防災教育の進展、令和2年度の学習指導要領改訂を受けて、項目の変更を行いました。今年度前期の教育活動について、保護者のみなさまにお尋ねします。アンケートは、ミマモルメを通じて配付しますので9月11日～9月17日の間に、回答のご協力をお願いいたします。

②ひまわり級の担任について

この度、ひまわり級の坂本史乃先生が産育休に入ります。つきましては、3年の少人数指導を行っていた河野未紗先生が担任を務めることとしますのでお知らせ致します。

③登校・下校時刻の自家用車

正門前の道路が大変せまいため、登校や下校時間は混雑しています。学校に御用の際、自家用車の使用をお控えくださるよう、お願い致します。